# 令和2年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年2月7日

上場会社名　ニチモウ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8091　URL　http://www.nichimo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 松本　和明
問合せ先責任者　(役職名) 取締役常務執行役員総務部長　(氏名) 八下田　良知　TEL 03-3458-3530
四半期報告書提出予定日　令和2年2月14日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第3四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2年3月期第3四半期 | 94,913 | △7.5 | 1,873 | △18.8 | 2,232 | △4.1 | 1,954 | 15.2 |
| 31年3月期第3四半期 | 102,634 | 9.5 | 2,306 | 44.0 | 2,327 | 69.8 | 1,697 | 167.3 |

(注) 包括利益　2年3月期第3四半期　1,712百万円　(22.8%)　31年3月期第3四半期　1,394百万円　(3.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2年3月期第3四半期 | 571.57 | 554.56 |
| 31年3月期第3四半期 | 498.48 | 484.32 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2年3月期第3四半期 | 75,778 | 16,184 | 21.2 |
| 31年3月期 | 65,051 | 14,803 | 22.6 |

(参考) 自己資本　2年3月期第3四半期　16,079百万円　31年3月期　14,672百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期 | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 |
| 2年3月期 | — | 50.00 | — | | |
| 2年3月期(予想) | | | | 50.00 | 100.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 令和 2年 3月期の連結業績予想(平成31年 4月 1日～令和 2年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 120,000 | △6.8 | 1,900 | △21.6 | 2,300 | 1.1 | 1,900 | — | 556.57 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ：無

② ①以外の会計方針の変更 ：無

③ 会計上の見積りの変更 ：無

④ 修正再表示 ：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2年3月期3Q | 3,787,400 株 | 31年3月期 | 3,787,400 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2年3月期3Q | 354,715 株 | 31年3月期 | 383,107 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2年3月期3Q | 3,420,087 株 | 31年3月期3Q | 3,404,397 株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（重要な後発事象） …… 9

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出が引き続き弱含みし製造業を中心に弱さが一段と増していますが、雇用・所得環境の改善が続いており、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続いております。一方で、米中貿易摩擦、中東情勢の緊迫化などの影響により、海外経済の不確実性や金融資本市場の不安定な変動が懸念され、令和元年10月に実施された消費税の引上げによる影響とともに先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループの事業基盤であります水産、水産加工・流通、食品の各分野におきましては、世界的な水産物の需要増大による買付競争、国内漁獲の不振に加え、人手不足による生産及び物流コストの上昇の中、水産物の国内消費の減少など、引き続き厳しい状況が続いております。

こうした情勢のもとで、当社グループは、３ヵ年経営計画「第134期中期経営計画（これからの100年に向かって）」の初年度として、「浜から食卓まで」を網羅した当社グループならではの強みを生かした営業活動に努めるとともに、事業横断による人材と組織の連携強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は949億13百万円（前年同期比77億20百万円の減少）、営業利益は18億73百万円（前年同期比４億32百万円の減少）、経常利益は22億32百万円（前年同期比95百万円の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億54百万円（前年同期比２億57百万円の増加）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①食品事業

食品事業におきましては、すり身は原料価格が上昇するなか、南米、国内産の取扱量が増加した結果、売上、利益ともに増加いたしました。カニは原料相場が引き続き高値で推移したことにより減収減益となりました。一方、北方凍魚および助子は採算重視の買付・販売を行い減収増益となりました。加工食品では、コンビニ向け総菜の販売が苦戦し、売上、利益ともに減少いたしました。その他、前年３月にすり身生産の海外子会社を売却したことにより売上と利益が減少しております。

これらの結果、売上高は625億90百万円（前年同期比45億35百万円の減少）、セグメント利益は16億29百万円（前年同期比１億93百万円の増加）となりました。

②海洋事業

漁網・漁具資材部門では、官公庁向け漁具資材や海外まき網用漁具資材などの販売が堅調に推移し、売上は増加いたしましたが、依然として北海道沿岸における漁獲不振の影響により漁具資材の販売が低迷し、営業利益は減少いたしました。船舶・機械部門では、船体一括案件の受注や船舶用機器類の販売が順調に推移し、売上、営業利益ともに増加いたしました。養殖部門では、養殖成魚の販売数量の減少から、売上は減少いたしましたものの、配合飼料などの販売が堅調に推移し、営業利益は増加いたしました。

これらの結果、売上高は146億３百万円（前年同期比96百万円の減少）、セグメント利益は４億85百万円（前年同期比64百万円の減少）となりました。

③機械事業

機械事業におきまして、国内では総菜加工業界・豆腐業界・水産加工業界向けから既存工場でのライン設備や移設工事、生産機器類など、海外では米国向け豆腐生産設備や春巻・焼売の成型機、製麺機など、幅広く受注が進みました。しかしながら、前期に比べ新工場建設などの大型案件が少なく、売上、営業利益ともに大きく減少いたしました。

これらの結果、売上高は73億88百万円（前年同期比32億78百万円の減少）、セグメント利益は３億21百万円（前年同期比５億９百万円の減少）となりました。

④資材事業

資材事業におきまして、化成品部門では、住宅用部材シートや印刷用フィルムの販売は堅調に推移し、売上は増加いたしましたものの、付加価値の高い工業用粘着シートの販売が低調に推移し、利益は減少いたしました。農畜資材では、度重なる台風の影響により売上、利益ともに減収減益となりました。

これらの結果、売上高は84億30百万円（前年同期比23百万円の増加）、セグメント利益は２億43百万円（前年同期比36百万円の減少）となりました。

⑤バイオティックス事業

バイオティックス事業では、薬局向けＯＥＭ商品の販売は順調に推移いたしましたものの、大手健康食品メーカー向け「アグリマックス」や「イムバランス」素材の大型受注がズレ込んだことなどが影響し、売上高は２億48百万円（前年同期比９百万円の減少）、セグメント利益は24百万円（前年同期比９百万円の減少）となりました。

⑥物流事業

物流事業では、主に九州地区における食品を中心とした運送業を展開し、不採算部門の閉鎖や業務効率の改善を図りながら、新規取引を増やした結果、売上高は15億81百万円（前年同期比１億74百万円の増加）、セグメント利益は30百万円（前年同期は２百万円のセグメント損失）となりました。

⑦その他

その他の事業といたしまして、不動産の賃貸、人材派遣業などを行っており、売上高は71百万円（前年同期比１百万円の増加）、セグメント利益は50百万円（前年同期比４百万円の増加）となりました。

## （２）財政状態に関する説明

（資　産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は757億78百万円（前連結会計年度比16.5％増）となりました。

総資産の増加は、主として現金及び預金、受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加によるものであります。

（負　債）

当第３四半期連結会計期間末における総負債は595億93百万円（前連結会計年度比18.6％増）となりました。

総負債の増加は、主として支払手形及び買掛金、短期借入金の増加によるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は161億84百万円（前連結会計年度比9.3％増）となりました。

純資産の増加は、主として利益剰余金の増加によるものであります。

## （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和２年３月期の業績予想につきましては、前回公表（令和元年11月８日）いたしました連結予想に変更はありません。

## ２．四半期連結財務諸表及び主な注記

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成31年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（令和元年12月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,091 | 7,768 |
| 受取手形及び売掛金 | 16,897 | 24,262 |
| 商品及び製品 | 18,559 | 19,623 |
| 仕掛品 | 314 | 562 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,041 | 3,508 |
| 前渡金 | 334 | 319 |
| その他 | 512 | 458 |
| 貸倒引当金 | △59 | △142 |
| 流動資産合計 | 45,692 | 56,361 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 7,717 | 7,813 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △5,819 | △5,897 |
| 建物及び構築物（純額） | 1,898 | 1,915 |
| 機械装置及び運搬具 | 6,944 | 7,204 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △4,949 | △5,238 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,995 | 1,966 |
| 船舶 | 36 | 36 |
| 減価償却累計額 | △10 | △15 |
| 船舶（純額） | 26 | 21 |
| 工具、器具及び備品 | 692 | 773 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △569 | △604 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 123 | 168 |
| 土地 | 2,744 | 2,767 |
| 建設仮勘定 | 51 | 127 |
| 有形固定資産合計 | 6,839 | 6,967 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 153 | 120 |
| その他 | 101 | 91 |
| 無形固定資産合計 | 254 | 212 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 10,982 | 10,967 |
| 長期貸付金 | 3,847 | 3,843 |
| 破産更生債権等 | 1,038 | 940 |
| 長期預金 | 27 | ― |
| 繰延税金資産 | 201 | 248 |
| その他 | 428 | 414 |
| 貸倒引当金 | △4,299 | △4,207 |
| 投資損失引当金 | △6 | △6 |
| 投資その他の資産合計 | 12,218 | 12,201 |
| 固定資産合計 | 19,313 | 19,380 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 46 | 35 |
| 繰延資産合計 | 46 | 35 |
| 資産合計 | 65,051 | 75,778 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>(平成31年３月31日) | 当第３四半期連結会計期間<br>(令和元年12月31日) |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 13,704 | 17,462 |
| 短期借入金 | 14,819 | 21,991 |
| 1年内償還予定の社債 | 140 | 40 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,495 | 4,450 |
| 未払法人税等 | 150 | 358 |
| 賞与引当金 | 436 | 186 |
| その他 | 2,373 | 1,749 |
| 流動負債合計 | 35,120 | 46,239 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 2,040 | 2,020 |
| 長期借入金 | 10,388 | 8,865 |
| 長期未払金 | 18 | 18 |
| 繰延税金負債 | 1,245 | 1,110 |
| 役員退職慰労引当金 | 201 | 180 |
| 退職給付に係る負債 | 721 | 652 |
| その他 | 512 | 507 |
| 固定負債合計 | 15,128 | 13,354 |
| 負債合計 | 50,248 | 59,593 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,411 | 4,411 |
| 利益剰余金 | 8,579 | 10,145 |
| 自己株式 | △1,085 | △1,003 |
| 株主資本合計 | 11,905 | 13,554 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,965 | 2,705 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | 2 |
| 為替換算調整勘定 | △121 | △157 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △75 | △25 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,767 | 2,525 |
| 新株予約権 | 130 | 104 |
| 非支配株主持分 | 0 | 0 |
| 純資産合計 | 14,803 | 16,184 |
| 負債純資産合計 | 65,051 | 75,778 |

## （２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

### 四半期連結損益計算書

#### 第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自 平成30年４月１日<br>至 平成30年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自 平成31年４月１日<br>至 令和元年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 102,634 | 94,913 |
| 売上原価 | 93,777 | 86,805 |
| 売上総利益 | 8,856 | 8,107 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,550 | 6,234 |
| 営業利益 | 2,306 | 1,873 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 37 |
| 受取配当金 | 133 | 149 |
| 持分法による投資利益 | 422 | 320 |
| 為替差益 | － | 65 |
| その他 | 105 | 177 |
| 営業外収益合計 | 664 | 751 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 339 | 308 |
| 為替差損 | 164 | － |
| その他 | 139 | 83 |
| 営業外費用合計 | 642 | 392 |
| 経常利益 | 2,327 | 2,232 |
| 特別利益 | | |
| 補助金収入 | 15 | － |
| 特別利益合計 | 15 | － |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 29 | 11 |
| 固定資産圧縮損 | 15 | － |
| 投資有価証券評価損 | － | 21 |
| ゴルフ会員権評価損 | － | 3 |
| 特別損失合計 | 44 | 37 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,298 | 2,194 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 590 | 296 |
| 法人税等調整額 | 11 | △56 |
| 法人税等合計 | 601 | 240 |
| 四半期純利益 | 1,697 | 1,954 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 0 | 0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,697 | 1,954 |

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成30年４月１日<br>至　平成30年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成31年４月１日<br>至　令和元年12月31日） |
|---|---|---|
| 四半期純利益 | 1,697 | 1,954 |
| その他の包括利益 | | |
| 　その他有価証券評価差額金 | △179 | △280 |
| 　繰延ヘッジ損益 | 10 | 2 |
| 　為替換算調整勘定 | △148 | △35 |
| 　退職給付に係る調整額 | 59 | 49 |
| 　持分法適用会社に対する持分相当額 | △44 | 21 |
| 　その他の包括利益合計 | △302 | △241 |
| 四半期包括利益 | 1,394 | 1,712 |
| （内訳） | | |
| 　親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,394 | 1,712 |
| 　非支配株主に係る四半期包括利益 | 0 | 0 |

## （３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成30年４月１日　至　平成30年12月31日）

1　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | | | その他(注) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 食品事業 | 海洋事業 | 機械事業 | 資材事業 | バイオティックス事業 | 物流事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 67,126 | 14,699 | 10,666 | 8,407 | 257 | 1,407 | 102,564 | 69 | 102,634 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 163 | 1,016 | 36 | 166 | ― | 30 | 1,412 | ― | 1,412 |
| 計 | 67,289 | 15,716 | 10,702 | 8,573 | 257 | 1,438 | 103,976 | 69 | 104,046 |
| セグメント利益又は損失（△） | 1,435 | 550 | 830 | 280 | 34 | △2 | 3,128 | 45 | 3,174 |

（注）　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

| 利　　益 | 金　　額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 3,128 |
| 「その他」の区分の利益 | 45 |
| 全社費用(注) | △867 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 2,306 |

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成31年４月１日　至　令和元年12月31日）

1　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | | | その他(注) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 食品事業 | 海洋事業 | 機械事業 | 資材事業 | バイオティックス事業 | 物流事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 62,590 | 14,603 | 7,388 | 8,430 | 248 | 1,581 | 94,842 | 71 | 94,913 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 150 | 922 | 23 | 170 | 1 | 23 | 1,290 | ― | 1,290 |
| 計 | 62,740 | 15,525 | 7,411 | 8,601 | 249 | 1,605 | 96,133 | 71 | 96,204 |
| セグメント利益 | 1,629 | 485 | 321 | 243 | 24 | 30 | 2,735 | 50 | 2,786 |

（注）　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

| 利　　益 | 金　　額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 2,735 |
| 「その他」の区分の利益 | 50 |
| 全社費用(注) | △912 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,873 |

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。